

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第71回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時：2023 年 5 月 30 日（月）13:10 ～ 14:00

2. 場 所：WebExによるWeb会議

3. 出席者（敬称略）

委員）中野（信）、莊田、榎菌、相澤、梅木、梅原、大橋、長嶺、中野（佑）^記、山本

以上 10名

常時参加者）杉野、長谷川、前田、東

以上 4名

オブザーバー）倉本、一丸、甲川

以上 3名

4. 配布資料

P11PWG-71-0 議事次第

P11PWG-71-1 第70回PWR水化学管理指針作業会議事録（案）

P11PWG-71-2 日本原子力学会標準“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：2019”の改定について（案）

P11PWG-71-3 PWR/BWR 水化学管理指針 改訂検討項目整理表

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

榎菌幹事より出席者の確認があった。委員10名全員の出席を確認し、7人以上の定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。

(2) 前回議事録確認

榎菌幹事より、資料「P11PWG-71-1 第70回PWR水化学管理指針作業会議事録（案）」について確認があった。作業会終了時点で出席者から特にコメント等は無かったことから、（案）を削除し正式版とすることとした。

(3) PWR一次系水化学管理指針の改定に向けた趣意書の作成について

中野主査より、資料「P11PWG-71-2 日本原子力学会標準“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：2019”の改定について（案）」に基づき、8月8日のシステム安全専門部会で説明するPWR一次系水化学管理指針改訂の趣意書案が提示された。以下の議論があり、適宜修

正の上、合同作業会において擦り合わせを図ることとした。

- ✓ 原則として5年毎の改定ルールとなっている中、制定から4年目で改定を行うことについて、ほう素同位体の分析標準の追加や近年指摘を受けている副資材管理等に係る改定が必要であるなど改定時期が適切であることを説明出来るようにしておくべき。
- 検討期間を考慮して5年毎の改定のために早めに作業を開始する必要があると認識している。この時期に改定する必要があることはQAベースで回答出来るように準備しておく。
- ✓ 「最新知見」、「新知見」の記載については「最新知見」に統一する。
- ✓ 「、」と「,」が混在しているため、ルールに則り統一する。
- ✓ 今後の予定について、審議が「専門部会」のみとなっているため、「標準委員会」を併記する。
- ✓ スケジュール案について、BWR案は本報告及び制定時期のみの記載となっており、中間報告等の詳細まで記載しているPWR案と一致していないため、今後合同作業会において擦り合わせを実施する。

(4) PWR/BWR 水化学管理指針共通検討項目の今後の進め方について

中野主査より、資料「P11PWG-71-3 PWR/BWR水化学管理指針 改訂検討項目整理表」に基づき、PWR/BWR合同作業会において改定内容を議論すべき項目の抽出方法について説明があった。本資料を用いてそれぞれの作業会で議論し、同一の項目を抽出した後、合同作業会において改定内容を審議する。ただし、改定案については効率的に進めるためBWR/PWRで分担を決めた上で作成を進めることとする。また、次回以降の議論を円滑に進めるため、各委員において事前に本資料の内容を確認しておくこととした。

以上